

平成24年度第1回地域協議会は5月25日（金）午後3時から二ツ井町庁舎大会議室で行われた。

平成24年度二ツ井地域局主要予算、二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業、シルバーパス事業及び救急医療情報キット配布事業について協議した。

(1) 平成24年度二ツ井地域局の主要予算に関する主な事業を抜粋

- ①防災行政無線難聴地域対策事業費(5,438千円)
 - ・屋外拡声子局1局増設、戸別受信機設置
- ②消防施設費(59,568千円)
 - ・車庫兼休憩所新築事業費
 - ・耐震性貯水槽整備事業費等
- ③恋文データ化事業費(4,990千円)
 - ・恋文検索システム作成業務委託料
 - ・恋文データ入力業務委託料
- ④4～9月シルバーパス事業費(1,250千円)
 - ・高齢者バス乗車券利用委託料等(70歳以上)利用者825人
 - 10～3月元気・交流200円バス事業費(1,573千円)
 - ・高齢者バス乗車券利用委託料等(65歳以上)
- ⑤救急医療情報キット等配布事業(650千円)
 - ・1,300世帯分
- ⑥林道西ノ沢小滝線開設事業(63,500千円)
 - ・事業年度H16-26、延長4,700m、幅4m
- ⑦二ツ井地域中心商店街活性化事業費(緊急雇用)(9,798千円)
 - ・軽トラ市、一店逸品情報の発信等
- ⑧社会資本整備総合交付金事業(136,500千円)
 - ・切石大林線(L=240m舗装、防雪柵)
 - ・大町立町線(L=150m側溝、舗装)等
- ⑨きみまち阪公園等管理費(23,854千円)
 - ・きみまち阪公園休憩所等施設建設工事等
- ⑩簡易水道事業費(簡水特別会計420,387千円)
 - ・富根地区簡易水道費462世帯
 - ・仁鮎地区簡易水道費413世帯
 - ・二ツ井・荷上場地区簡易水道整備事業費等
- ⑪浄化槽整備事業費(浄化槽特別会計40,880千円)
 - ・浄化槽設置基数(二ツ井地域)53基



※ 案件3件について、熱心な審議が行われた第1回地域協議会

【主な質疑(Q)と回答(A)】

Q) 地域局各課の予算の総額は？

A) 4課合計、867,661千円。

本日の資料の「平成24年度二ツ井地域局の状況」と異なる。各課の主要予算の概要は、あくまでも主要なものとなっている。

Q) 予算を執行するときの決裁は、本庁の部課長となるのか、地域局でも可能なのか。

A) 課長決裁は、地域局でよいが、局長、部長以上の決裁は、本庁の関係する部課長からの決裁も必要となり、双方決裁となる。

Q) 4月10日号の広報に折込みされていた、わかりやすい予算書より、例えば二ツ井ふくし会補助金については、本庁の長寿いきがい課で処理し、地域局の市民福祉課を経由はしないのか。

A) 本日の資料は、あくまでも地域局で支払うもので、予算配当になったものを記載している。この補助金は予算配当になっていないので本庁の担当課で行う。

Q) 建設課の予算に、きみまち阪公園等管理費とあるが、なぜ建設課なのか。観光振興課ではないのか。

A) きみまち阪公園は建設課で管理しているので予算計上している。

Q) 総務企画課の予算に、恋文データ化事業費 4,990 千円とあるが、どういうことをするのか。わかりやすい予算書では、緊急雇用とも書いてあるが。

A) 国の事業である緊急雇用事業を活用し、今まで紙だった恋文をコンピュータに入力しデータ化を図るため、商工会に委託する。この事業費は、2,580 千円となる。

データ化したものをホームページで閲覧できるようにするための費用としてシステム作成委託料 2,410 千円。合わせて 4,990 千円である。

Q) きみまち阪公園に建設する休憩所の建設予定地と建物について

A) 建設予定地は第 1 広場の休憩所とトイレ付近である。設計業者が決まったばかりで詳細はこれからであるが、売店、軽食コーナーを設ける予定である。

Q) 防災無線について、緊急時に聞こえにくいことがある。前に説明を受けたとき、調査し対応したいと聞いたがどうなったか。

A) 本年度は富根地区へ子局を 1 基増設、また各地区の区長さん宅へ戸別受信機を設置する予定である。

Q) 聞こえづらい対応として、区長宅に戸別受信機を設置するとしたが、その戸別受信機に緊急時の放送が流れた場合の対応は。どこへ連絡すればいいのか聞きたい。

A) 緊急時の場合、区長さんには地区への情報伝達をお願いしたい。

Q) 富根地区に増設する子局 1 基は、今までのものと同じか。また、緊急時の放送の際の対応はどうなるのか。それと耐震性貯水槽が設置となると説明があったが、設置場所はどこか。

A) 子局は今までと同じものを設置する予定であり、緊急時の対応方法は市で検討してから連絡する。耐震性貯水槽については富根診療所付近に設置する。

Q) 林道について、西ノ沢小滝線はつながるのか。また、林道開設の目的はなにか。

A) 西ノ沢地区、小滝地区の双方から工事しており、平成 26 年度中にはつながる予定である。林道開設の目的は低コストで効率的に間伐等の実施や集材運搬ができるようにするものである。

Q) 浄化槽整備事業で、普及率を人口比率で出しているが、世帯比率の方がいいのではないか。

A) 今後は人口比率と世帯比率を出したい。

(世帯比率 36.0%と報告)

(2)二ツ井・荷上場地区

簡易水道整備事業について

・平成 23 年度の完成分については、荷上場取水ポンプ場の建設と荷上場地区の一部に導水管及び配水管の布設を行った。今年度予定整備箇所は、荷上場地区の梅林寺付近から沢口工業団地付近間に、導水管及び配水管布設工事を一部行うほか、沢口浄水場・配水場の工事については 2 カ年で完成させる計画である。浄水管理棟は地上 2 階、地下 1 階で工事は大高建設(株)と契約し、工期は 2 月末まで、配水池の工事は(有)伊藤組と契約し、工期は 1 月末まで。また、場内配管工事は(株)コンノ土木と契約し、2 月末の工期となっている。その他各地域への配水管布設については、平成 26 年度から 28 年度までの予定となっている。

(3)シルバーパス事業及び

医療情報キット配布事業について

(シルバーパス事業)

・10 月からシルバーパス事業の制度が変わり、能代市全域で利用可能となり料金は 200 円となる。200 円未満の場合はその料金となる。対象者は 70 歳以上から 65 歳以上となる。運賃が 100 円から 200 円となるが、利用範囲が広がり、利用出来る方も増える。今までは年 1 回顔写真を付けて更新してもらっていたが、今後は更新を不要とする方向で検討している。

(医療情報キット配布事業)

・災害や急病の場合に備え、現在飲んでいる薬、抱えている持病、かかりつけの主治医、家族などの緊急連絡先などをまとめたものを、冷蔵庫の中に保管しておくものである。

これにより、救助に駆け付けた消防署員や近所の方々がこのキットから必要な情報を正確に知ることができ、その後のスムーズな対応につながる。

65 歳以上の高齢者世帯等に配布することとしている。

【主な質疑（Q）と回答（A）】

Q）医療情報キットについて、高齢者世帯への配布、記入など町内会が関わることになるのか。

A）社会福祉協議会の巡回相談員、市、場合によっては民生委員にも協力をお願いして各家屋に訪問しながら配布し、記入についても指導していく予定である。

Q）医療キットを配布して記入して、それで終わりではなく、その後の対応もお願いしたい。

A）そのように対応します。



（4）その他

○市道の通行止めについて（報告）

市道2路線が通行止めとなっている。

ふたつ白神郷土の森線については、冬期間は通行止めで、毎年5月の連休前に除雪作業を行って解除している。

今年の除雪作業で起点から5.5km付近で路肩決壊が2カ所と落石があった。現在、復旧方法などを検討中である。

仁鮎切石線については、県の治山工事で23年度末までに完成し通行可能にしたいと伺っていたが、岩盤が脆く難工事となったため、完成が10月下旬頃までずれ込むとの報告があった。

・その他

【主な質疑（Q）と回答（A）】

Q）平成24年度から入札参加申込書が契約検査課へ持参か郵送となった。申込み期間は4日間と短く、郵送については書留めで料金が発生する、地域局で受付出来ないか。

A）担当課に確認して、あとで回答する。

地域局で入札参加申込書を受付出来ない回答として下記のとおり説明した。

<契約検査課回答>

①談合等の不正行為防止のため、入札参加者及び参加業者数の情報が漏れることがないように、情報管理を徹底する必要がある。

②入札案件は工事、物品、委託、修繕、リース等、多種多様であり、地域割廃止により二ツ井地域の業者が参加対象となる案件も増加することから、関係書類については、入札事務に精通している契約検査課職員が申込時に直接受付し、確認する必要がある。

Q）24年度から入札が一本化になったが、合併浄化槽の工事で17件中15件が能代地域、二ツ井地域と地域割があり、一本化になっていないがどうか。

A）平成24年度から地域割を廃止し物品等は4月1日に名簿登載している。建設工事については県の格付名簿を確認した後、名簿登載するため6月1日頃になる。

Q）わかりやすい予算書で、行事観光支援費23,154千円となっており、地域の観光振興に取り組む観光協会を支援するとある。

二ツ井観光協会は自分が持っている総会資料から事業費等補助金2,045千円、人件費3,180千円で計5,225千円となり、それが補助金と思う。能代観光協会補助金はどのくらいか。

23,154千円のうち二ツ井観光協会補助金5,225千円を差し引き、残りすべて能代地域で使うことになるのか。

A）観光の予算については、すべて本庁の観光振興課に計上されており、詳細については手元に資料がないので後で報告します。

（後日、詳細について説明済み）

Q）二ツ井地域についても本庁の課で管理しているのがあるということですね。

A）そのとおりです。

◎新たな委員の委嘱（欠員補充）

案件に先駆け、二ツ井地区からの推薦により、金子良一氏へ二ツ井地域局長から委嘱状が交付されました。



※地域協議会とは

平成18年3月、能代市と二ツ井町が合併し、新しい能代市が誕生しました。同年8月、二ツ井地域に関する様々な事業やまちづくりなどに地域住民の声を反映させるため、「地域協議会」が設置されました。地域協議会は二ツ井地域に住所を有する15名の市民で構成され、任期は2年、現在は3期目の委員が委嘱され、その時々々の二ツ井地域に関係する事業や地域住民の主體的なまちづくりについて協議を行い、地域住民を代表して市に対して意見・要望を述べています。

◎平成23年度地域協議会開催実績概要

開催日	案件数	出席委員	当局職員
5月16日	4件	10人	14人
8月11日	4件	9人	15人
11月17日	3件	8人	11人
2月17日	2件	11人	12人
4回開催:平均	3.25件	9.5人	13人

地域協議会委員（第3次）〔任期 H24.8.23〕

（会長）田中勝昭 （副会長）七尾昌樹
（委員）石井政子、石山一彦、伊藤輝幸
金子良一、菊池幸子、工藤 憲
斉藤陽悦、佐々木英樹、高橋要三
藤田昭司、藤田信夫、山谷竹美
吉岡 努 （敬称略、五十音順）

※ 編集後記

平成24年度第1回目の地域協議会の開催であった。「地域協議会だより」を21年度から発行してきたが、今後も協議会の状況を二ツ井地域の皆様に伝えていきたい。

（金野）

編集、発行

〒018-3192 能代市二ツ井町字上台1-1
能代市二ツ井地域局総務企画課 Tel 73-2112